

事業 11	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成26年度				
	事業名	地場産品及び伝統工芸品等の販路開拓推進		予算額	17,813			千円
				決算額	17,756			千円
	事業概要	伝統工芸品のインターネット通販、駿府楽市特産品展示コーナーの運営等により、地場産品や伝統工芸品等の販路開拓を図ります。		取組状況	H26.9.1 現在	JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて11回の展示会を開催。(来場者数 165,140人) 駿河区丸子「駿府匠宿」ギャラリーにおいて12回の展示会を開催予定。(来場者数 93,840人)		
					進捗率	H26.9.1 現在		
	補足事項		H27.3.31 現在	(イベント開催回数) 50回		(イベント開催回数) 100.0	(%)	
	成果目標	各種展示販売イベント 50回/年 (駿府楽市や駿府匠宿のギャラリー等)		事業結果	■特産品展示販売 JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間27回の展示会を開催した。(年間来場者数414,440人) 駿河区丸子「駿府匠宿」ギャラリーにおいて年間23回の展示会を開催した。(年間来場者数246,790人)			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						
		大施策						
	産業振興のプラン位置付け	中施策		事業評価等	〔事務担当記載項目〕 所属部会からの意見及び指摘事項			
		基本方針	2 生活の質を高める産業の振興					
基本方針		(1) マーケットを重視した事業展開の促進						
所属部会	基本施策	③販路開拓支援	〔事業担当記載事項〕 改善点・ 目標の未達成理由等	静岡駅 駿府楽市については、前年度、アスティ内にある他の土産店との差別化ができなかったことにより、駅を訪れた観光客を取り込むことができなかった。 そのため平成26年度は、デザイナーによる商品のブラッシュアップや店舗の陳列方法等を改良するなど対応を図ったが、平成27年度以降も継続的に対応方法を検討していく。				
	事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		匠宿 鞠子楽市においては、ツアーバスの500キロ規制で団体客が減少したことにより、施設来場者が落ち込んだ。今後は、新たな魅力あるツアーを開発し、旅行会社に売り込み、ツアー客の増、買い物客の増へとつなげていきたい。				

事業	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成26年度			
	事業名	全国規模等の見本市への出展助成強化	予算額	13,800 千円			
			決算額	13,797 千円			
	事業概要	市内中小企業製造業者が市内外で行われる全国規模または国際的な展示会・見本市等に出展する経費のうち小間料について、助成を拡大します。		取組状況	H26.9.1 現在 ■平成26年9月1日現在、 補助申請件数 35件※(31件) ※相談中の企業数は含まない 執行額 10,124千円(9,376千円) ※()内は平成25年9月1日の数値		
		補足事項			進捗率	(助成件数) H24 / 52件 (助成件数) 97.9 H25 / 50件 (%) H26 / 35件 (予算執行額) 73.4 計 / 137件 (参考) 対予算執行額	
			(助成件数) H24 / 52件 (助成件数) 110.0 H25 / 50件 (%) H26 / 52件 (予算執行額) 99.9 計 / 154件 (参考) 対予算執行額				
	成果目標	助成件数 140件/3年 (1社当たり、国内外 各1回の計2回/年に強化)		事業結果	■申請件数：52件 執行額：13,797千円(平成27年3月31日現在) ■申請企業数は2社増、執行率はほぼ満額執行となった。 ■当補助金を利用した52社の内、海外展示会への出展を行った企業数は5社であり、昨年と比較し1社増加した。また、補助金利用企業の内新規利用が16社あり、徐々に補助金の周知が図られている。 ■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。 ■平成25年度に制度を利用した企業に対しアンケートを実施。ニーズ把握等に努めた。		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業評価等	(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
		中施策	②経営基盤とマーケティング力の強化				
	産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		(事業担当) 記載事項 改善点・ 目標の未達成理由等	■3年間で目標を上回る件数の助成を行うことができた。中小製造事業者の販路開拓ニーズの高まりを受け、平成27年度予算において増額を行うこととした。 ■引き続き制度の周知を積極的に行うとともに、事業内容についても利用しやすい制度となるよう検討していく。	
		基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進				
基本施策		③販路開拓支援					
所属部会	■商品開発部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 工業振興係						
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係						

事業 13	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成26年度		
	事業名	中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供)		予算額	0千円	
				決算額	0千円	
	事業概要	新規顧客開拓や新分野進出を目指す市内企業を支援するため、情報発信やビジネスマッチングの機会提供を推進します。		取組状況 H27.3.31 現在	■まちなみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おた研究・開発フェア 10月2日・3日 募集終了 参加企業1社 ・おた工業フェア 2月5日～7日 募集終了 参加企業1社 ■販路開拓事業 (産業政策課) 民間コーディネーターの人脈を活用した「食」の海外展開支援のための台湾バイヤー商談会	
					(%)	
	補足事項	進捗率等	H27.3.31 現在	(支援事業への参加企業数) H24 / 19社 H25 / 53社 H26 / 17社 計 / 89社 (新規顧客開拓件数) H24 / 3件 H25 / 2社 H26 / 1社 計 / 6社 (新分野進出・業務転換企業数) H24 / 6件 H25 / 6社 H26 / 1社 計 / 13社	(支援事業への参加企業数) 296.7 (新規顧客開拓件数) 100.0 (%) (新分野進出・業務転換企業数) 433.3	
	(%)					
	成果目標	支援事業への参加企業数 30社/3年 新規顧客開拓件数 6件/3年 新分野進出・業務転換企業数 3社/3年		事業結果 ■まちなみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おた研究・開発フェア (太田区) 10月2～3日 出展企業1社 ・おた工業フェア (太田区) 2月5～7日 出展企業1社 ■販路開拓事業 (産業政策課) 「食」の海外展開支援のための台湾バイヤー商談会 12月16日～19日 台湾バイヤー12社と静岡側セラール5社の商談会実施 ◇支援事業への参加企業 89社/3年 ◇新規顧客開拓件数 6件/3年 ◇新分野進出・業務転換企業数 13件/3年		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
	まちなみがき戦略推進プランの位置付け	ビジョン	「鳥の眼」ビジョン			
		政策の柱	地元産業の活性化			
	産業振興プランの位置付け	基本方向				
		基本方針				
基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他(特記事項)	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 金融機関との連携を継続するとともに、大学等との連携についてもさらなる充実を図る。 また、市内オンリーワン・ナンバーワン企業の発掘とその技術や製品の効果的な情報発信のために、企業訪問を積極的に行っていく。		

事業	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度		
	事業名	マーケティング支援講座の実施	予算額	指定管理料87,702千円の一部 千円		
			決算額	指定管理料87,702千円の一部 千円		
	事業概要	産学交流センターにおいて、中小事業者等のマーケティング発想の醸成を図り、市場ニーズに対応した製品・サービスの開発を支援するため専門家等によるセミナー・研修を実施します。	取組状況 H26.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援講座 5回 受講者数 432人 (内訳) ・5/21「小さな会社のための「ブランディング」セミナー」 受講者数 106人 ・6/12「中小企業が成長を遂げるための情報収集手法」 受講者数 56人 ・6/25「改めて顧客中心主義について考えよう」 受講者数 81人 ・7/24「売れる営業マンに変わる名刺交換の技術」 受講者数 102人 ・8/6「中小企業のためのSNS徹底活用術」 受講者数 87人 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援講座 7回 		
				補足事項	進捗率等 H27.3.31 現在	(開催回数) H26 / 5回 (開催回数) 83.3 (%) (受講者数) H25 / 432名 (受講者数) 106.0 (%)
	(開催回数) H24 / 12回 (開催回数) 102.8 (%) (受講者数) H25 / 918人 (受講者数) 127.4 (%) H26 / 881人 計 / 2,676人					
	成果目標	開催回数 36回 / 3年 受講者数 2,100人 / 3年 (※再掲 事業5の内数)		<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援講座 12回 受講者数 881人 (内訳) ・5/21「小さな会社のための「ブランディング」セミナー」 受講者数 106人 ・6/12「中小企業が成長を遂げるための情報収集手法」 受講者数 56人 ・6/25「改めて顧客中心主義について考えよう」 受講者数 81人 ・7/24「売れる営業マンに変わる名刺交換の技術」 受講者数 102人 ・8/6「中小企業のためのSNS徹底活用術」 受講者数 87人 ・9/4「AKAISHI」のチャレンジングスピリットと社内リソースを重視したマーケティング」 受講者数 53人 ・10/7「消費税増税で商売繁盛する仕組み」 受講者数 42人 ・10/27「元気な会社の経営戦略 成長続ける企業の共通点とは？」 受講者数 85人 ・11/14「「小っちゃな」会社が大きな会社に負けないためのマーケティング戦略」 受講者数 65人 ・12/3「手作り菓子一筋147年「マルヒロ松柏堂本店」が歩んできた道とは？」 受講者数 55人 ・12/17「1行で差が付くテクニク「売れる」キャッチコピーはこう作る！」 受講者数 91人 ・1/22「これからの時代の変化を好機にするリーダー」 受講者数 51人 		
	総合計画の位置付け(分野別)	IV 産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	事業結果			
		大施策 (2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成				
	産業振興プランの位置付け	基本方向 2 生活の質を高める産業の振興	事業評価			
基本方針 (1) マーケットを重視した事業展開の促進		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等				
基本施策 ① マーケティング力の強化		開催回数・受講者数とも目標値を達成することができた。 今後も引き続き、中小企業経営者や従業員の人材育成のため、専門家の協力を得て、各種講座やセミナーを開催し、人材育成に努める。				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)			

事業 15	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度					
	事業名	専門家による窓口相談		予算額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円の一部		千円		
				決算額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円の一部		千円		
	事業概要	中小企業支援センターにおいて、専門の異なる中小企業診断士等による窓口相談を実施します。		取組状況	H26.9.1 現在	窓口相談企業数 190社 窓口相談件数 200件 (業種別内訳) 製造業20件、卸売業6件、建設業3件、小売業36件、サービス業116件、その他19件 (支援内容別内訳) 創業60件、その他140件			
					補足事項等	進捗率等	H26.9.1 現在	(相談件数) H26 / 200件	(相談件数) 133.4 (%)
							H27.3.31 現在	(相談件数) H24 / 475件 H25 / 526件 H26 / 493件 計 / 1,494件	(相談件数) 166.0 (%)
	成果目標	相談件数 900件 / 3年		事業評価	事業結果				
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		窓口相談企業数 413社 窓口相談件数 493件 (業種別内訳) 製造業40件、卸売業12件、建設業5件、小売業72件、サービス業326件、その他38件 (支援内容別内訳) 創業126件、その他367件				
		大施策	(2) 地域産業の活力強化		次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等 目標値を達成することができた。 今後も引き続き、専門家による窓口相談を拡大する。特に待つだけではなく、こちらから出張相談を実施予定。				
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化						
	産業振興プランの位置付け	基本方向							
		基本方針							
		基本施策							
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)					

ものづくり基本計画		(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度		
事業名	コンサルティングの実施		予算額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料71,631千円の一部		
			決算額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料71,631千円の一部		
事業概要	中小企業支援センター及び清水産業・情報プラザにおいて、専門家を事業者に派遣し、問題解決のための診断・助言を行います。		取組状況 H26.9.1 現在	<p>【中小企業支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家派遣企業数 13社 ・専門家派遣件数 50件 (派遣内容内訳) 経営全般19件、IT17件 (派遣業種内訳) 製造業1件、サービス業10件、その他3件 <p>【清水産業・情報プラザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家派遣件数 11件 (派遣内容内訳) 現場作業改善コース8件、品質向上コース2件、HACCPコース1件 (派遣業種内容) 製造業5件、卸売業3件、印刷業2件、運送業1件 		
				補足事項	進捗率等	H26.9.1 現在
			H27.3.31 現在	(派遣回数) H24 / 112件 H25 / 120件 H26 / 122件 計 / 354件	(派遣回数) 53.6 (%)	
成果目標	派遣回数 660件/3年					
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化	事業結果	<p>【中小企業支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家派遣企業数 29社 ・専門家派遣件数 122件 (派遣内容内訳) 経営全般46件、マーケティング44件、IT20件、その他12件 (派遣業種内訳) 製造業45件、卸売業12件、建設業3件、小売業29件、サービス業33件 <p>【清水産業・情報プラザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家派遣件数 11件 (派遣内容内訳) 現場作業改善コース8件、品質向上コース2件、HACCPコース1件 (派遣業種内容) 製造業5件、卸売業3件、印刷業2件、運送業1件 		
	大施策	(2) 地域産業の活力強化				
	中施策	③ 経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興プランの位置付け	基本方向		事業評価			
	基本方針			次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	目標値を達成することができなかった。 【理由】 専門家派遣事業のPRをイベント等で実施しているが、効果的ではなかった。今後、相談者などにも積極的な活用を促していく。	
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)			

事業 17	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度			
	事業名	専門家の指導による商品企画・開発支援		予算額	指定管理料87,702千円の一部		千円
				決算見込額	指定管理料87,702千円の一部		千円
	事業概要	産学交流センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を活かした商品づくりに対する支援を行います。		取組状況 H26.9.1 現在	<p>【「静岡おみやKプロジェクト」支援事業】(Kは観光のK)</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト期間 平成26年6月19日～平成27年3月末 参加企業数 6社 9月1日現在において、マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の商品企画及び企画書精査を実施。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> デザイナーによる講義を経たのち、テストマーケティング(11月下旬) 東京での試食評価会(1月) 成果発表会及び販売会(3月) 		
					補足事項	進捗率等	H26.9.1 現在
	H27.3.31 現在	(支援プロジェクト数) H24 / 1件 H25 / 1件 H25 / 1件 計 / 3件	(支援プロジェクト数) 100 (%)				
	成果目標	商品企画・開発支援プロジェクト プロジェクト数 3件/3年		事業 評価	事業結果	<p>【「静岡おみやKプロジェクト」支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト期間 平成26年6月19日～平成25年3月末 参加企業数 6社 マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応、デザイナーによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の開発及び商品パッケージの完成。 12/6・7 テストマーケティング実施 1/27 商談会実施 3/11 成果発表会実施 3/21・22 お披露目販売会実施 	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化				
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興プラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	目標値を達成することができた。 今後は、多くの企業が当該事業に参加できる仕組みを検討する。			
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	①マーケティング力の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度		
	事業名	起業に向けたビジネスプラン策定等の支援	予算額	SOHOしずおか運営補助金14,500千円及び産学交流センター指定管理料87,702千円の一部		千円
			決算見込額	SOHOしずおか運営補助金14,500千円及び産学交流センター指定管理料87,702千円の一部		千円
	事業概要	新規に事業展開を目指す事業者等を対象にコンテストを実施、受賞者に対する事業化に向けた支援を実施します。	取組状況 H26.9.1 現在	10月24日を応募期限として、ビジネスプランを募集中。 8月27日に、応募者(学生)向けセミナー開催受講者数 30人 【今後の予定】 ・応募者向けセミナー 10月2日 ・応募締め切り 10月24日 ・書類審査 11月上旬 ・プレゼン審査 11月28日、11月29日 ・最終審査会 2月19日		
				補足事項	進捗率等 H26.9.1 現在	(コンテスト応募件数)
	H27.3.31 現在	(コンテスト応募件数) H24 / 112件 H25 / 71件 H26 / 74件 計 257件	(応募件数)			92.5 (%)
	成果目標	コンテスト応募件数 80件/年		事業結果 ビジネスプランは、74件の応募があった。 書類審査(11月上旬実施)において、プレゼン審査に進出する一般部門16者、学生部門9者を選出。 プレゼン審査(11月28日、11月29日実施)において、最終審査会に進出する一般部門6者、学生部門5者を選出。 最終審査会を2月19日(木)に実施。審査会終了後、表彰式及び交流会を実施。 本事業に関するセミナー開催数 実施回数2回 参加者数60人		
	総合計画の位置付け(分野別)	IV産業・経済 政策方針 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	事業評価			
		大施策 (2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成				
		中施策 ③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成				
産業振興プラン位置付け	基本方向 4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等				
	基本方針 (1) 創業支援					
	基本施策 ①インキュベート機能の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他(特記事項)			

事業 19	ものづくり 基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度			
	事業名	創業者等の営業機会拡大等のための 各種事業の実施		予算額	清水産業・情報プラザ指定管理料71,631千円及び SOHOしずおか運営補助金14,500千円		
				決算見込額	清水産業・情報プラザ指定管理料71,631千円及び SOHOしずおか運営補助金 千円の一部		
	事業概要	清水産業・情報プラザ及びSOHOしずおかにおいて、創業者等の経営相談や営業機会拡大等のための各種事業を実施します。		取組状況 H26.9.1 現在	(清水産業・情報プラザ) ・専門アドバイザーによる定期相談 9回 39件 (情報化 21件、創業 10件、法律 5件、特許 3件) (SOHOしずおか) ・起業相談 218件 ・経営相談 466件 ・ブレイクスルーセミナーの開催 開催数3回、参加者数344人 ・その他、イノベーションセミナー、勉強会、創業応援塾の開催		
					補足事項	進捗率等	H26.9.1 現在
	H27.3.31 現在	(相談件数) H24 / 1,602件 H25 / 931件 H26 / 762件 計 / 3,295件	(相談件数)	274.6 (%)			
	成果目標	相談件数 1,200件/3年 営業機会拡大等に関する各種支援の実施		事業 評価	事業結果 (清水産業・情報プラザ) 専門アドバイザーによる定期相談 開催回数 22回 相談件数 78件 (SOHOしずおか) ・起業相談 218件 ・経営相談 466件 ・ブレイクスルーセミナーの開催 開催数3回、参加者数 344人 ・その他、イノベーションセミナー、勉強会、創業応援塾の開催		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した 産業構造の知的高度化				
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材 ・企業の輩出、育成	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	(清水産業・情報プラザ) 来年度も定期相談を開催するが、相談者に対するフォローアップ に取り組み、特に創業者の増加につなげていく。			
	基本方針	(1) 創業支援					
	基本施策	①インキュベート機能の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)				

事業 20	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度			
	事業名	専門家の指導等による商品企画・開発等支援の拡充(新商品・特許)		予算額	7,150千円		
				決算見込額	5,562千円		
	事業概要	市内中小企業・製造業者が行う新商品開発及び特許等の産業財産権出願などに関する経費の一部を助成します。また、助成事業の範囲を拡充します。		取組状況 H26.9.1 現在	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理している。今後、1月末までに中間検査を実施し、年度末の事業完了報告を経て補助金を交付する。(交付見込額:2,412千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 平成25年度から商標登録出願を補助対象に新たに加えたことにより、利用件数は増加傾向にある。9月1日現在、補助金交付申請件数は13件となっている。 特許:3件、意匠:3件、実用新案:4件、商標:3件 今後、事業完了報告を経て補助金を交付する。 (交付見込額:3,150千円)</p>		
					補足事項	進捗率	H26.9.1 現在
	H27.3.31 現在	(新商品助成件数) H24 / 3件 H25 / 4件 H26 / 3件 計10件 (産業財産権助成件数) H24 / 20件 H25 / 33件 H26 / 34件 計87件 (参考)2事業合計対予算執行率	(新商品助成件数) 83.3 (産業財産権助成件数) 138.1 (予算執行率) 79.6	(%)			
	成果目標	新商品 12件/3年 産業財産権 63件/3年 (対象事業を拡充)		事業結果	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理した。中間検査で現地訪問により進捗状況を確認したところ、各事業所とも課題点等はあったものの、おおむね順調に開発を進めていたが、年度末の事業完了報告の際に、必要書類を用意できず、報告ができなかった企業が1件あったため、補助金を支出した企業は3件となった。 (交付金額:2,112千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 年度末までに次のとおりの交付申請があった。 申請件数34件 (内訳)特許13件、意匠5件、実用新案7件、商標9件 (交付金額:3,585千円)</p> <p>■事業の周知活動 市内信用金庫等の各関係企業、団体への訪問や会議においての説明を通じて、本事業の周知を図り、助成制度の活用促進に努めた。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経営 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業評価等	<p>(事務担当) 記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>	
		大施策	(3) 知的産業を支える知的経営資源の活用強化				
		中施策	①研究開発力の強化				
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		<p>(事業担当) 記載事項</p>	<p>改善点・ 目標の未達成理由等</p>		
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	①マーケティング力の強化					
所属部会	<p>■商品開発部会 部会員 ものづくり審議会委員 ■事務担当 産業振興係</p>				<p>新商品開発事業について、産業振興プランと連動を図るため、同プランに掲げる戦略産業に該当する産業分野での商品開発の場合は、補助対象経費を1/2から2/3に拡大する。</p>		
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 産業振興係</p>						